

速乾型エポキシ変性カチオン系プライマー

フローン水性プライマーF

特 長

1時間で硬化します(23℃)。また、1液硬化タイプなので、2液タイプのような面倒な硬化剤との混合作業が必要ありません。

用 途

フローンアクアファーストの下塗り材に最適。

コンクリート、モルタル面用プライマー

上塗可能製品

床材	
フローンアクアファースト	水性フローア

容量・荷姿・使用量・塗装面積

容量・荷姿	使用量	塗装面積
15kg (石油缶入り)	0.12~0.15kg/m ²	1回塗り 100~125m ² /缶
4kg (ポリ缶入り)		1回塗り 26~33 m ² /缶

乾燥時間

上塗可能時間	
35℃以上	30分以上
20~35℃	50分以上
10~20℃	2時間以上
5~10℃	3時間以上

標準仕様

工程	材料名	使用量 kg/m ²	上塗可能時間 23℃	備考
1	素地調整	—	—	
2	フロン水性プライマーF	0.15	50分	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。 吸い込みの激しい場合は2回以上塗布して下さい。
3	フロンアクアファースト 水道水	0.15 0.0075	40分	フロンアクアファーストを、水道水にて5%希釈し、混合、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
4	フロンアクアファースト 水道水	0.15 0.0075	—	フロンアクアファーストを、水道水にて5%希釈し、混合、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。

注意事項

- よくかき混ぜて均一な状態にしてから使用して下さい。また、無希釈タイプですので希釈はしないでください。
- ゴミ、ホコリ等の異物は、施工前に清掃を行い、完全に除去して下さい。
- コンクリート、モルタルの養生不足は水分の影響により、フクレ、硬化不良をまた、アルカリの影響により、密着不良をまねく場合があります。従って、含水率が高周波水分計ケツ社製 HI-500・HI-520 で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、pH9.5 以下になってから施工して下さい。
- 気温及び躯体温度 5℃以下、湿度 80%以上あるいは結露している環境下での施工は密着不良、ひび割れなどの原因となりますので施工を避けて下さい。
- 塗装後翌日まで降雨、降雪等の心配がある場合は、施工を避けて下さい。
- 冬期の施工は夜露、結露の発生が考えられますので、ウエス等で拭き取り、乾燥させてから塗装して下さい。
- 夜露、高湿度等で被塗物が結露している場合は、ウエス等で拭き取り、乾燥させてから塗装して下さい。
- 上塗りに溶剤系塗料は使用できません。
- カチオン系塗料ですので他の塗料との混合はできません。
- 中毛ローラー、ハケなどの施工具は、他の塗料との共用を避け、使用後は十分に水洗いを行って下さい。
- 他の容器に移す場合はプラスチック容器を使用して下さい。金属容器を使用すると錆が発生する可能性があります。
- 金属部への塗装は行わないで下さい。また、非塗面のまわりに金属部材がある場合、塗料が付着しないように養生を行って下さい。
- 直接皮膚に触れないように注意して下さい。もし触れた場合、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 材料は、冷暗所に保管して下さい。また、施工現場での保管は、雨等が当たらないようにし、外部の野積みは避けて下さい。
- 材料の保管、取扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき、充分な管理をお願い致します。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行って下さい。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは産業廃棄物として処理して下さい。

※アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。

(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)

容器に表示されている注意事項をご参照の上、安全に施工して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

●お問い合わせは.....

東日本塗料株式会社

本社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3丁目25番16号
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1丁目13番地
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1丁目4番20号
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3丁目7番9号
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128番地-1
 北海道出張所/

TEL. 03 (3693) 0851 (代) FAX. 03 (3697) 2306
 TEL. 0480 (65) 1515 (代) FAX. 0480 (65) 1518
 TEL. 022 (291) 7372 (代) FAX. 022 (291) 7320
 TEL. 025 (273) 5749 (代) FAX. 025 (274) 6730
 TEL. 054 (238) 8061 (代) FAX. 054 (238) 8063
 TEL. 090 (8586) 2214 FAX. 03 (3697) 2306

*製品改良のため予告なく、仕様、性能を変更する場合がございます。